



書家 加藤裕さん作『久遠』

真宗高田派  
賢隆山久遠寺

〒460-0007

名古屋市中区新栄1-4-6

Tel & fax 052-241-5231

www.kuonji.net

Kenryuzan-kuonji@nifty.com

久遠寺住職の

# いま不思議ないのちを生きている!



平成二十五年もいろいろなことがありました。嬉しいニュースとして、オリンピックの誘致が決定しました。世界の人々とスポーツを通して交流し、日本の姿を知ってもらいまた他国の文化も知るチャンスを与えられたことを喜んでおります。目的に向かって、国民が一体となることで、経済効果に良い影響をもたらす、雇用、失業の問題が少しでも明るい光になるように、と願います。

一年間の流行語は、「つやるの?今でしょ!」倍返し」「ちええええ」等が選ばれました。普段何気なく使ってしまう言葉でありながら、自分自身反省を促し、心の中では思っていることを見事に表現された言葉と 생각합니다。言葉は使われる「時」と「場所」・「愛情」を持ちながら使われる時は、人に勇気と希望、感動を与えるものでもあります。けれども、その使い方を間違えると人を傷付ける言葉となる場合があります。何気なしに使っている言葉が、相手によっていろいろな解釈をされるわけですから、どのように言ったらいいのかと迷いが生じてきます。突き詰めると、自分とはどういうものであるかと問えば、自分は自分以外のあらゆる全てのものに生かされていることに目が開かれることで、自分の分限を知り、人の痛みや敬う心を初めてもつでしょう。そこで、生活の中で起こり得る事柄は、人として生きる為には、人間関係の嫌なことを通して、自分に本当の人間とは何であるか、を教えるはたらきであると気付きたいものです。

お釈迦様は「縁起の法」を説かれました。この法は、世の中すべての存在をせしめている変わらない法則であり、網目のごとく、つながり関係していることを教えて下さいます。親鸞聖人は「弥陀仏は自然のはたらきをしらせるためのものである」と自然の目に見えない不思議なるはたらきによって生かされることを知らず、とお教え下さっております。自分の思い通り、都合で生きようとしている自分に人間の分限を知らずることによつ

人の痛みや敬う心に目覚めさせてもらうのが、南无阿彌陀仏であり、仏を念ずる心によつて、目には見えないけれども、念ぜられ願われている自分自身の存在を知らされるのであります。

今年の漢字「一字は輪」でした。輪という字によつてすべての生物が、円かにつながりがある事実と互いの違いを認め合い、今こうしてあることに歓喜し、懺悔の心を以て歩みたいものです。

最後に、久遠寺報恩講にお招きしたG・ぶんだりーか、未だ復興が遅れている東北の子供達と作曲した歌を拝聴し、音楽によって支援をされている姿に感動致しました。その歌詞の「一節を」ご紹介いたします。

マスクをわすれておこられた

かぜをひいてるわけじゃないのに

おきんぽにいきたくてくつをはいたら

きょうもあしたも ダメなんだて

そとにはわるいバイキンが いぼいなんだて

ママからもらった

おまもりのせんりょうけいもつけているのに

うすあそびはダメだて

むしとりもどんぐりひろいも

ほうしゃのうがなはいはしよであそびたい

パママ せんせい おきんぽにつれてて

みんなで てをつないで あるきたいんだ

みんなで てをつないで あそびたいんだ

『ツナギマチ』より

当たり前前に生きていることに歎き痛みを分かち合い、少しでも協力して早く復興が進むことを願うばかりです。久遠寺ではG・ぶんだりーかのCD販売をしております。販売金額がそのまま復興支援金となります。購入希望の方は、ご連絡くださいませ。 合掌

当寺住職 高山元智

# おあじわい

～ほうごカレンダーからいただく～

## 表紙

### 称名とは

### み名を

### 聞くことであります



称は、はかりというこころなり。はかりというはものほどもをさだむることなり『聖典』

昔は秤に載せたものど、分銅の重さが一つになるように重さを量りました。称「はかり」とするこで、そこにはたらしきがあることを意味しているのです。

仏様の助けずにはいられない名告りの心と、私たち生きざる者すべての衆生が「お願いします」という声であります。仏の名告りの声を聞くところに自分自身の本性が見え出され、私の傲慢な心を少しづつ破られていくのであります。その時に「南无阿弥陀仏」と、自分が仏様を呼ぶ声と仏様からの名告りの声を聞かせていただくことで、私の進むべき道となるのであります。

## 一月

### み仏の

### み名を称ふるわが声は

### わが声ながら

### にふとかりけり



私が仏を念ずる心は、自分の思いや都合で生きている心で念じております。南无阿弥陀仏と称えた時に、自分を打ち破り、念仏を疑って生きてきたことで、自ずからを然らしめている法(真理)の存在に背いていた自分に気付かせていただきます。

初めは、濁りの混じった手段としてお念仏が、仏様のお心を知り、本能の底から自分を目覚めさせようとする心に感謝せずにはおられないのであります。

## 二月

### 人は

### 法を求めに止まら

### 法に生きていることを

### 忘れてる



法とは、生きとし生ける者全てを存在せしめている変わらぬ法則であります。法は目には見えませんが、物が上から下へ落ちても事実がある所には、法則がある訳です。

親鸞聖人は「弥陀仏は自然のはたらきをしらせるためのものなり」と言われました。私自身は自然のはたらきに背き、我が思いを満足させようとしているけれども、人間にあらゆるおかげさまで存在していることを知らせんが為、南无阿弥陀仏という言葉となつて我々に近づいてくることをお教え下さっております。同時に、言葉のはたらきによつて自分の存在そのものが懺悔となり、人生を歩んでいくことが、法に生きているのであります。自分の思いだけの反省ではなく、法に照らされたものでなくてはならないのであります。

## 三月

### 帰ってゆくべき世界は

### 今遇う光

### 知らされる



私達は、何処から来て何処へ帰っていくのであります。何処へ行くにも、今いる場所が分からないと、行く先もわからない訳であります。

今年の漢字「輪」という字は、生きとしけるもの全てとつながっていて、一人喜べば二人とつながり、一人悲しめば悲しみも伝わっていくことも教えてくれます。

私達は、生まれたと同時に苦悩の世界に、不思議ないのちを縁によつて賜っております。そして、生を尽くしたところに、元々いた処に帰る命であります。今いる場所を明らかにするには「自分の都合」自分の思いばかりを満足しようとする思いが行き詰まり、わかつたつもりでいた自分に一つの光が照らされ自身の色が見えることです。

それが人間の分限を知らせんが為の光。教えであり、自分の力では無く、清浄なる願いに遇う事によつてであります。

**豆** 迦陵頻伽(かりょうびんが)

『仏説阿弥陀経』に登場する『迦陵頻伽(かりょうびんが)』上半身が人で、下半身が鳥という仏教での空想上の生物です。お浄土に住んでいると言う迦陵頻伽。お寺の本堂の欄間におみえになることもありますよ。お浄土=本堂?考えてみましょう!

# 久遠寺の掲示板



久遠寺正門に設置してある掲示板法語は月に一回ほど更新しております。久遠寺にお参りされるお気持でお味わいて下さい。



煩惱を

やめることは

できぬけれど

煩惱と

知ることとは

できる

正親令英

当山報恩講【G・ぷんだりーか寺ライブ】



海外から演奏しに来てくれました☆貴重な縁でした！



最後は集合写真！

**街のお寺 金泉会 安穩の報告**

10月14日、秋を感じる気持ち持ち良々の中、街のお寺 金泉会 安穩の「」を無事終えることができました。寺を一般向けに解放する初めての試みでした。本堂に縁感謝です。お寺の空間と様々な音が繰り成す雰囲気は、不思議そのもの。来寺して下さった方々も、本堂に喜んで下さった様子でした。今までお寺との縁がなかった皆様にも、寺に触れ、坊主と語り、お経様をお称えてし、手を合わせてもらいました。そして、境内でのんびりと時間を過ごしてもらい、自身たちが大好きな金泉会を楽しんでおられた様子でした。

安穩とは、仏様から頂戴する。本堂の安心のこと。

仏様の御前で、日常のしがらみなしに、ただまっすぐに、正直に自分と向き合えた安んできた瞬間だったと思います。本堂に贅沢な価値ある時間だったと、私自身感じております。

今後も、寺の役割、関わる方を元気にする仙道を模索しながら法耕して参りたいと思いますので、お支えの程よろしくお願ひ申し上げます。

南无阿弥陀仏

報恩講をお勤め致しました！

親鸞聖人の遺徳を偲び、感謝する報恩講。無事お勤めすることができました。そして、多くの御参詣、誠に有難う御座いました。雅楽から始まるお勤めは如何でしたでしょうか。茶室での一服、そこには若坊守作のおもてなし茶菓子、そしてG・ぷんだりーかをお招きして楽しく仏様のみ教えを歌に乗せて聞いていただきました。帰り際の皆様のお顔は笑みでいっぱい、また多くの感動のお言葉をいただき、大変嬉しく思います。

従来通りのお勤め、法話という親鸞聖人のお念仏のみ教えをお伝えする方法以外にも、『歌』という方法でまた違った視点からのみ教え、いのちとは、ということを皆様方それぞれに感じて頂けたかと思えます。

久遠寺護持、また寺から皆様を元気にしていくことはまだまだこれからも続けて参ります。変わらぬお支えをよろしくお願ひいたします。

南无阿弥陀仏



若坊守お手製の和菓子



聴聞の方々は本堂に収まらず！

恒例となった干支飾り、来年は「午」！ 大切にお飾りませう！



前田 嘉成さん



矢島 昭夫さん



大橋 和子さん



加藤 裕さん



吉井 直子さん

久遠寺の日日是好日



久遠寺図書、本を大幅に入れ替えました！



長男次男とともに境内で元気に遊んでおります！！



夏に大活躍したモスキートマグネット(蚊取り機)



久遠寺ブログ、リニューアル！！毎日更新中です！



本山だけでなく、記事執筆しております！！



この演台で法話してきました！

**編集後記**

十二月初旬、高田本山で布教伝道研修講座\*があり、法話を発表して参りました。一人十五分の制限時間内で発表し、その後質疑応答があります。僅かな時間ですが、質疑応答や、西本願寺の布教の講師による総評は、大変刺激となり、いい勉強となりました。自分の法話の中からの一文を。

我ら無明なるが故に、二つの光との出会いによって我が身の至らなさが知られる」と、光に照らされることで初めて私自身の形がはつきりとわかってくるのだ、ということをお話させて頂きました。

このような大切なご縁を頂戴し、今後とも日々精進したいと思っております。

南无阿弥陀仏  
衆徒 高山信雄

- ◎ 久遠寺ホームページ＆ブログ『シュリハンドカ』も随時更新中です。
- ◎ お経本・お念珠は大切なものです。床に直接置かないように気を付けましょう。

是非お揃いで御参詣ください。	4月 本山参拝予定	3月21日(金) 午前9～12時	3月27日(木) 午後1:30～	2月21日(金) 午後1:30～	1月24日(金) 午後1:30～	1月10日(金) 午前9～12時
	慶讃法会 久遠寺団体参拝	墓参り 讚佛会 お彼岸)	真宗入門法話会 ⑳ 和讃のこころ 『びとくち法話集』から ～往還二廻向～	真宗入門法話会 ㉑ 和讃のこころ 『びとくち法話集』から ～現生正定聚～	真宗入門法話会 ㉒ 和讃のこころ 『びとくち法話集』から ～他力～	修正会 お正月) 墓参り
	高田本山	平和公園	久遠寺	久遠寺	久遠寺	平和公園

今後の予定